



町のわだい

今月の題字 佐々木 ^{ありや}有弥君（豊間根小3年）

町総合防災訓練に参加者650人 津波避難など有事に備え“いざ”行動

町総合防災訓練が9月4日に行われ、町民の皆さんを対象にした津波避難など有事に備えた各種訓練が繰り広げられました。町内各地区では、午前8時にサイレンが鳴り響くとリュックを背負い足早に避難場所などへと向かう人達の姿が見受けられ、町民グラウンドで行われた林野火災防ぎょ訓練では町消防団員と航空自衛隊員らが背負い式散水装置などを使った消火作業に取り組んでいました。この日の参加者は650人。訓練後に佐藤町長は「常に最悪の状況に備え、11年前の経験が無駄にしないよう取り組んでいかなければならない」と訓示を述べました。



復旧した田の浜防災緑地公園で植樹祭 減災願う「緑の防潮堤」作り再び

津波被害を和らげる「緑の防潮堤」を作ろうと、8月28日、「いのちを守る森づくり植樹祭in山田町2022」が田の浜地区防災緑地公園で開かれました。3年前にも「鎮守の森のプロジェクト」や地元自治会の協力を得て行われたこの取り組み。同公園がその年の台風で被災したため今回、復旧を機に再び開催することになったものです。町内外からボランティアら220人が駆けつけ、海側斜面にタブノキなど23種類の苗木2千本を植えました。針生佳穂さん（山田高2年）は「津波から地域を守るよう丈夫に育ててほしいです」と苗木の成長を願っていました。

「ゆうなご会」がラジオ体操で表彰 地域住民の健康増進などに貢献

（株）かんぽ生命や全国ラジオ体操連盟などによる「ラジオ体操優良団体等表彰」で、織笠地区の「ゆうなご会」（菊地隆男会長）が「府県等表彰」を受賞しました。令和2年から毎週土曜日の朝のラジオ体操への参加を広く呼び掛け、地域住民の健康増進と交流のきっかけづくりに貢献してきたことが認められたものです。9月4日には、織笠コミュニティセンターで表彰状の伝達が行われ、菊地会長は「多い時には50人ほどが参加しています。今後もコロナに負けず元気に活動の輪を広げていきたいです」と笑みを浮かべ、会員の皆さんと受賞を喜んでいました。



受賞した「ゆうなご会」の皆さん